日容包リ発第 8-167 号
令和 8 年 10 月 28 日

市（区）町村・一部事務組合
容器包装リサイクル法ご担当者　様

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会
代表理事専務　尾原　範弘
（公　印　省　略）

# 令和 9 年度市町村からのＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準の改定について

拝啓　時下ますますご清祥の段お喜び申しあげます。
平素は、当協会（指定法人）における容器包装廃棄物の再商品化事業の実施に格別のご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、当協会では、ＰＥＴボトルベール品の品質向上と再商品化の安全性確保に向け、品質調査の見直し検討を重ねてまいりました。本見直しにつきましては、すでに令和 7 年 6 月 20 日付および同年 10 月 21 日付の「ＰＥＴボトル分別基準適合物の指定法人への引き渡しの現状等」の配付資料内にて見直しの方向性について初期のアナウンスを行わせていただき、その後、令和 8 年 3 月 13 日付「日容包リ発第 7-327 号」にて見直しの正式な着手を、さらに本年 6 月には新基準でのテスト調査の進捗状況をご案内・ご報告するなど、段階的に情報発信と意見集約に努めてまいりました。
このたび、本年 4 月から 8 月にかけて全国の保管施設にて実施いたしましたテスト調査の結果分析、ならびに市町村・一部事務組合の皆様、再商品化事業者の皆様から頂戴したご意見や実態調査を踏まえ、令和 9 年度から適用する具体的な改定内容を正式に決定いたしましたのでご連絡申しあげます。
つきましては、本通知に添付された別紙の内容をご確認いただき、令和 9 年度からの円滑な新基準の運用開始に向け、分別収集および中間処理における品質管理体制の整備にご協力賜りますようお願い申しあげます。

敬具

記

## １．変更の目的と背景

平成 10 年度のベール品質調査開始以来、市町村・一部事務組合の皆様のご尽力により、

品質改善が進み、近年では全体の 95%が「A 判定」を獲得する結果となっております。しかしながら、現行の A 判定の基準（75 点～100 点）が広すぎるため、実際の品質にばらつきがあっても同じ評価になるという「調査の形骸化」や評価の公平性の観点から、見直しの必要性が高まっておりました。

また、前回の基準見直し（平成 28 年）から約 10 年が経過し、リチウムイオン電池等に起因する再商品化事業者での火災リスクの増大、医療系廃棄物による労働災害リスクなど、安全性の確保が最重要課題となっております。

これらの課題を解決し、実態に即した「公平かつ安全な評価体系」へのシフトと、さらなる資源循環の高度化を目的として、今回の見直しを実施いたします。

## ２．主な変更内容

### （１）安全性の確保に向けた「D ランク」基準の導入

プラスチック製容器包装・紙製容器包装と同様に、再商品化事業者の災害回避および事業継続の観点から、以下の「医療系廃棄物」または「危険品」の混入が確認された場合は、総合点数にかかわらず一律で「Dランク」判定とし、各市区町村・一部事務組合へ改善を要請いたします。ただし、これを理由に引き取りをお断りすることはありません。

医療系廃棄物：　注射針、注射器、点滴セットのチューブ・針等（特に感染症の恐れがあるもの）

危険品　　：　リチウムイオン電池、電池内蔵電子機器、ライター、ガスボンベ、スプレー缶、乾電池等発火の危険性があるもの、および刃物、カミソリ等怪我をする危険性があるもの

### （２）評価項目および配点の適正化（主観の排除と資源循環の重視）

主観的判断の抑制　　：　判定者の目視や主観により左右されやすかった「外観汚れ」「積み付け安定性」の配点を引き下げます。

再商品化影響項目の重視：　資源価値や処理工程に直接影響を与える「キャップ付き PET ボトル」「テープや塗料が付着した PET ボトル」「アルミ缶・スチール缶」「ガラスびん、陶磁器類」の混入に対する配点を大きくします。

### （３）「Aランク」の細分化と優良市町村、一部事務組合へのインセンティブの導入

ランクの細分化：　従来の A ランク（75 点以上）を「A＋」「A」「A－」等に細分化し、品質の差を可視化します。

調査の免除　　：　最高ランクである「A＋ランク」の判定を受けた保管施設に対しては、翌年度の品質調査を免除する特例措置を設けます。

（４）配点項目、合計点数の維持

配点項目につきましては現行通り、総合得点についても 100 点満点での算出は変更ございません。

３．添付資料

別紙①：令和９年度（変更後）ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準

別紙②：【新基準】ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質調査結果記録表

別紙③：新旧対照表（ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準）

別紙④：新旧対照表（ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質調査結果記録表）

４．本件に関する問い合わせ先

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会　ＰＥＴボトル事業部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門１丁目 14 番１号 郵政福祉琴平ビル２階

メール：PET@jcpra.or.jp　ＴＥＬ：03-5532-8691

以上

別紙①

PETボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準

| 検査項目 | | Aランク | 配点 | Bランク | 配点 | Dランク | 配点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | 殆ど汚れがない | 4 | 少しの汚れ | 2 | 大変汚い | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | 荷崩れがない | 4 | 積み重ねが不安定 | 2 | 積み重ねが困難 | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | 手で解体可能 | 4 | ハンマー等簡単な道具で解体出来る | 2 | 簡単な道具で解体出来ない | 1 |
| 再商品化に影響を与えるPETボトル類 | ④ キャップ付きPETボトル ※ | 1%以下 | 10 | 20%以下 | 5 | 20%超 | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル ※ | 10%以下 | 8 | 30%以下 | 4 | 30%超 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | 0.5%以下 | 6 | 1.5%以下 | 3 | 1.5%超 | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル ※ | 0.1%以下 | 10 | 0.2%以下 | 5 | 0.2%超 | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | 検出されない | 8 | 0.05%以下 | 4 | 0.05%超 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル ※ | 0.2%以下 | 8 | 1%以下 | 4 | 1%超 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | 0.2%以下 | 4 | 1%以下 | 2 | 1%超 | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | 0.5%以下 | 4 | 1.5%以下 | 2 | 1.5%超 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 ※ | 検出されない | 6 | 0.1%以下 | 3 | 0.1%超 | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 ※ | 検出されない | 12 | 0.01%以下 | 6 | 0.01%超 | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 ※ | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| 総合判定 | | Aランク：100 ≧ 合計点数 ≧ 75 さらに、以下のように区分される。<br>A+ランク 100 ≧ 合計点数 ≧ 95<br>A ランク 95 ＞ 合計点数 ≧ 80<br>A−ランク 80 ＞ 合計点数 ≧ 75<br>Bランク：75 ＞ 合計点数 ≧ 50<br>Dランク：50 ＞ 合計点数 ≧ 15<br>特例 ：・丸ボトルは合計点数にかかわらず、Dランクとする。<br>・医療系廃棄物、危険品が混入していた場合、合計点数にかかわ<br>Dランクとする。 | | | | |

- **※印の項目④⑤⑦⑨⑫⑬⑭は、再商品化への影響や適正な資源循環の確保に関わるため特に重要視しています。**
- **医療系廃棄物とは、感染症の恐れがある、注射針、注射器、点滴セットのチューブ・針等。**
- **危険品とは、リチウムイオン電池、リチウムイオン電池を含む電子機器、ライター、ガスボンベ、スプレー缶、**
  乾電池等発火の危険性があるもの、及び刃物、カミソリ等怪我をする危険性があるもの。
- **ラベルのないボトルの区分について**
  ボトル本体の底部あるいは側面にPETリサイクルマークの刻印、またはキャップ部（リング）やボトル側面等に賞味期限が表示されている場合はPETボトルに区分する。PETリサイクルマークの刻印または賞味期限の表示がないものはプラスチック製容器包装とする。

【新基準】 PETボトル分別基準適合物(ベール品)の品質調査結果記録表　**別紙②**

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| 市町村名又は組合名 | | | | | | | | |
| 保管施設名 | | | | | | | | |
| 調査実施日 | 令和　　年　　月　　日（　） | | | 調査実施者 | 役職: | | | |
| | | | | | 氏名: | | | |
| 市町村等立会者 | 氏名: | | | | | □ 委任(立会無) | | |
| 調査の場所及び所在地 | | | | | | | | |
| サンプル量 | 大・中・小型 | ベール数:　　個 | | 総重量:　　g | | 丸ボトル: 有・無 | | |
| | 結束材: PPバンド・PETバンド・番線・その他(　　) | | | | | | | |
| 総合判定結果 | A( A+・A・A− )・B・D　(該当ランクを○で囲む) | | | | | | | |

| 目視検査 | | 区分 | | | 判定及び配点(O印) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | A | B | D |
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | A.殆ど汚れない | B.少しの汚れ | D.大変汚い | 4 | 2 | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | A.荷崩れがない | B.積み重ねが不安定 | D.積み重ねが困難 | 4 | 2 | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | A.手で解体可能 | B.ハンマー等簡単な道具で解体出来る | D.簡単な道具で解体出来ない | 4 | 2 | 1 |

| 計量検査項目 | | 個数(ケ) | 重量(g) | 重量(%) | 判定及び配点(O印) | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | A | B | D |
| PETボトル類 再商品化に影響を与える | ④ キャップ付きPETボトル | | | | 10 | 5 | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル | | | | 10 | 5 | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | | | | 4 | 2 | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | | | | 4 | 2 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 | | | | 12 | 6 | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | | | | 小　計 | | | |
| | | | | 合　計 | | | |

| 特記事項 | |
|---|---|

## 現行基準

PETボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準

| 検査項目 | | Aランク | 配点 | Bランク | 配点 | Dランク | 配点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | 殆ど汚れがない | 8 | 少しの汚れ | 4 | 大変汚い | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | 荷崩れがない | 6 | 積み重ねが不安定 | 3 | 積み重ねが困難 | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | 手で解体可能 | 4 | ハンマー等簡単な道具で解体出来る | 2 | 簡単な道具で解体出来ない | 1 |
| 再商品化に影響を与えるPETボトル類 | ④ キャップ付きPETボトル | 1%以下 | 8 | 20%以下 | 4 | 20%超 | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル | 10%以下 | 8 | 30%以下 | 4 | 30%超 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | 0.5%以下 | 8 | 1.5%以下 | 4 | 1.5%超 | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル | 検出されない | 8 | 0.05%以下 | 4 | 0.05%超 | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | 検出されない | 8 | 0.05%以下 | 4 | 0.05%超 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル | 0.2%以下 | 8 | 1%以下 | 4 | 1%超 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | 0.2%以下 | 6 | 1%以下 | 3 | 1%超 | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | 0.5%以下 | 4 | 1.5%以下 | 2 | 1.5%超 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 | 検出されない | 4 | 0.1%以下 | 2 | 0.1%超 | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 | 検出されない | 8 | 0.01%以下 | 4 | 0.01%超 | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| 総合判定 | | Aランク:100 ≧ 合計点数 ≧ 75<br>Bランク:75 ＞ 合計点数 ≧ 50<br>Dランク: 50 ＞ 合計点数 ≧ 15<br>特例 ：丸ボトルは合計点数にかかわらず、Dランクとする。 | | | | | |

※ラベルのないボトルの区分について

ボトル本体の底部あるいは側面にPETリサイクルマークの刻印、またはキャップ部（リング）やボトル側面等に賞味期限が表示されている場合はPETボトルに区分する。PETリサイクルマークの刻印または賞味期限の表示がないものはプラスチック製容器包装とする。



別紙③ 新旧対照表（ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準）

## 新基準

PETボトル分別基準適合物（ベール品）の品質ランク区分及び配点基準

| 検査項目 | | Aランク | 配点 | Bランク | 配点 | Dランク | 配点 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | 殆ど汚れがない | **4** | 少しの汚れ | **2** | 大変汚い | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | 荷崩れがない | **4** | 積み重ねが不安定 | **2** | 積み重ねが困難 | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | 手で解体可能 | 4 | ハンマー等簡単な道具で解体出来る | 2 | 簡単な道具で解体出来ない | 1 |
| 再商品化に影響を与えるPETボトル類 | ④ キャップ付きPETボトル **※** | 1%以下 | **10** | 20%以下 | **5** | 20%超 | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル **※** | 10%以下 | 8 | 30%以下 | 4 | 30%超 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | 0.5%以下 | **6** | 1.5%以下 | **3** | 1.5%超 | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル **※** | **0.1%以下** | **10** | **0.2%以下** | **5** | **0.2%超** | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | 検出されない | 8 | 0.05%以下 | 4 | 0.05%超 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル **※** | 0.2%以下 | 8 | 1%以下 | 4 | 1%超 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | 0.2%以下 | **4** | 1%以下 | **2** | 1%超 | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | 0.5%以下 | 4 | 1.5%以下 | 2 | 1.5%超 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 **※** | 検出されない | **6** | 0.1%以下 | **3** | 0.1%超 | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 **※** | 検出されない | **12** | 0.01%以下 | **6** | 0.01%超 | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 **※** | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | 検出されない | 6 | 0.01%以下 | 3 | 0.01%超 | 1 |
| 総合判定 | | Aランク:100 ≧ 合計点数 ≧ 75 **さらに、以下のように区分される。**<br>**A+ランク 100 ≧ 合計点数 ≧ 95**<br>**A ランク 95 ＞ 合計点数 ≧ 80**<br>**A−ランク 80 ＞ 合計点数 ≧ 75**<br>Bランク: 75 ＞ 合計点数 ≧ 50<br>Dランク: 50 ＞ 合計点数 ≧ 15<br>特例 ：・丸ボトルは合計点数にかかわらず、Dランクとする。<br>**・医療系廃棄物、危険品が混入していた場合、合計点数にかかわらずDランクとする。** | | | | | |

- **※印の項目④⑤⑦⑨⑫⑬⑭は、再商品化への影響や適正な資源循環の確保に関わるため特に重要視している項目。**
- **医療系廃棄物とは、感染症の恐れがある、注射針、注射器、点滴セットのチューブ・針等。**
- **危険品とは、リチウムイオン電池、リチウムイオン電池を含む電子機器、ライター、ガスボンベ、スプレー缶、乾電池等発火の危険性があるもの、及び刃物、カミソリ等怪我をする危険性があるもの。**
- ラベルのないボトルの区分について

ボトル本体の底部あるいは側面にPETリサイクルマークの刻印、またはキャップ部（リング）やボトル側面等に賞味期限が表示されている場合はPETボトルに区分する。PETリサイクルマークの刻印または賞味期限の表示がないものはプラスチック製容器包装とする。

別紙④ 新旧対照表（ＰＥＴボトル分別基準適合物（ベール品）の品質調査結果記録表）

## 現行基準　PETボトル分別基準適合物（ベール品）の品質調査結果記録表

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村名又は組合名 | | | | | | | | |
| 保管施設名 | | | | | | | | |
| 調査実施日 | 令和　年　月　日（　） | | 調査実施者 | 役職: | | | | |
| | | | | 氏名: | | | | |
| 市町村等立会者 | 役職:　氏名:　□ 委任（立会無） | | | | | | | |
| 調査の場所及び所在地 | | | | | | | | |
| サンプル量 | 大・中・小型 | ベール数:　個 | 総重量:　g | 丸ボトル: 有・無 | | | | |
| | 結束材: PPバンド・PETバンド・番線・その他（　） | | | | | | | |
| 総合判定結果 | Ａ・Ｂ・Ｄ　（該当ランクを○で囲む） | | | | | | | |

| 目視検査 | | 区分 | | | 判定及び配点（O印） A | B | D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | A.殆ど汚れない | B.少しの汚れ | D.大変汚い | 8 | 4 | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | A.荷崩れがない | B.積み重ねが不安定 | D.積み重ねが困難 | 6 | 3 | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | A.手で解体可能 | B.ハンマー等簡単な道具で解体出来る | D.簡単な道具で解体出来ない | 4 | 2 | 1 |

| 計量検査項目 | | 個数(ケ) | 重量 (g) | 重量 (%) | 判定及び配点（O印） A | B | D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 再商品化に影響を与えるPETボトル項 | ④ キャップ付きPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | | | | 4 | 2 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 | | | | 4 | 2 | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | | | | 小　計 | | | |
| | | | | 合　計 | | | |

| 特記事項 | |
|---|---|

※把手（大型ボトル）、中栓（醤油などのボトル）、容器と一体となっているキャップや外れにくいキャップリングは異物の対象にならない。

## 新基準　PETボトル分別基準適合物（ベール品）の品質調査結果記録表

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 市町村名又は組合名 | | | | | | | | |
| 保管施設名 | | | | | | | | |
| 調査実施日 | 令和　年　月　日（　） | | 調査実施者 | 役職: | | | | |
| | | | | 氏名: | | | | |
| 市町村等立会者 | 氏名:　□ 委任（立会無） | | | | | | | |
| 調査の場所及び所在地 | | | | | | | | |
| サンプル量 | 大・中・小型 | ベール数:　個 | 総重量:　g | 丸ボトル: 有・無 | | | | |
| | 結束材: PPバンド・PETバンド・番線・その他（　） | | | | | | | |
| 総合判定結果 | A（A+・A・A−）・Ｂ・Ｄ　（該当ランクを○で囲む） | | | | | | | |

| 目視検査 | | 区分 | | | 判定及び配点（O印） A | B | D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ベール状態 | ① 外観汚れ程度 | A.殆ど汚れない | B.少しの汚れ | D.大変汚い | **4** | **2** | 1 |
| | ② ベールの積み付け安定性 | A.荷崩れがない | B.積み重ねが不安定 | D.積み重ねが困難 | **4** | **2** | 1 |
| | ③ ベールの解体性 | A.手で解体可能 | B.ハンマー等簡単な道具で解体出来る | D.簡単な道具で解体出来ない | 4 | 2 | 1 |

| 計量検査項目 | | 個数(ケ) | 重量 (g) | 重量 (%) | 判定及び配点（O印） A | B | D |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 再商品化に影響を与えるPETボトル項 | ④ キャップ付きPETボトル | | | | **10** | **5** | 1 |
| | ⑤ 容易に分離可能なラベル付きPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑥ 中身が残っているPETボトル | | | | **6** | **3** | 1 |
| | ⑦ テープや塗料が付着したPETボトル | | | | **10** | **5** | 1 |
| | ⑧ 異物の入ったPETボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| 夾雑異物 | ⑨ 塩ビボトル | | | | 8 | 4 | 1 |
| | ⑩ ポリエチレンやポリプロピレンのボトル | | | | **4** | **2** | 1 |
| | ⑪ 材質識別マークのないボトル | | | | 4 | 2 | 1 |
| | ⑫ アルミ缶、スチール缶 | | | | **6** | **3** | 1 |
| | ⑬ ガラスびん、陶磁器類 | | | | **12** | **6** | 1 |
| | ⑭ 紙製容器類 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | ⑮ その他夾雑物 | | | | 6 | 3 | 1 |
| | | | | 小　計 | | | |
| | | | | 合　計 | | | |

| 特記事項 | |
|---|---|

※把手（大型ボトル）、中栓（醤油などのボトル）、容器と一体となっているキャップや外れにくいキャップリングは異物の対象にならない。